

Mizuho Daily Market Report

2023/4/28

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	133.45	133.67	▲0.09	▲1.05
EUR	1.1018	1.1041	+0.0068	+0.0086
AUD	0.6609	0.6603	▲0.0023	▲0.0110
SGD	1.3359	1.3355	▲0.0031	+0.0010
CNY	6.9203	6.9280	▲0.0046	+0.0433
MYR	4.4586	4.4575	+0.0075	+0.0165
THB	34.23	34.21	▲0.18	▲0.27
IDR	14828	14833	▲12	▲12
PHP	55.64	55.64	+0.09	▲0.59
INR	81.90	81.77	▲0.15	▲0.47

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.449%	+4.9 bp	▲14.2 bp
日本(10年)	0.465%	▲1.4 bp	▲1.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.397%	+1.3 bp	▲11.8 bp
オーストラリア(5年)	3.034%	▲17.2 bp	▲22.9 bp
シンガポール(5年)	2.789%	▲5.8 bp	▲6.6 bp
中国(5年)	2.643%	▲1.9 bp	▲1.4 bp
マレーシア(5年)	3.413%	▲1.1 bp	▲10.7 bp
タイ(5年)	2.103%	+2.0 bp	+0.2 bp
インドネシア(5年)	6.277%	▲13.5 bp	▲13.5 bp
フィリピン(5年)	5.844%	▲1.3 bp	▲5.7 bp
インド(5年)	6.990%	▲2.3 bp	▲5.7 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,301.87	▲0.7%	▲1.8%
N225(日本)	28,416.47	▲0.7%	▲0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,347.71	▲0.7%	▲1.0%
ASX(オーストラリア)	4,267.92	▲0.4%	▲0.5%
FTSTI(シンガポール)	3,293.91	▲0.1%	▲0.9%
SSEC(中国)	3,264.10	▲0.0%	▲3.1%
KLSE(マレーシア)	1,414.25	▲0.8%	▲0.8%
SETI(タイ)	1,543.95	+0.2%	▲2.3%
JKSE(インドネシア)	6,910.147	+1.3%	+1.3%
PSE(フィリピン)	6,540.24	▲0.8%	+1.5%
SENSEX(インド)	60,300.58	+0.3%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	264.94	▲1.4%	▲3.7%
金	1,989.04	▲0.4%	▲0.3%
原油(WTI)	74.30	▲3.6%	▲6.1%
銅	8,535.25	+0.3%	▲4.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	132.90	—	134.80
EUR/USD	1.0940	—	1.1130
AUD/USD	0.6570	—	0.6680
USD/SGD	1.3320	—	1.3420
USD/CNY	6.9170	—	6.9550
USD/MYR	4.4350	—	4.4880
USD/THB	34.05	—	34.35
USD/IDR	14780	—	14950
USD/PHP	55.45	—	56.00
USD/INR	81.65	—	82.15

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は133円台半ばの水準でオープン。前日の海外市場で金融不安に伴うリスクオフへの警戒感から133円半ば近辺での上値の重い推移となるが、日経平均株価がプラス圏に戻す動きにじり高で反応し、133円台後半へ上昇し海外時間へ。

アジア通貨は総じて小動き。THBについては前日にタイの貿易統計で輸出が予想対比強い結果となったことなどを材料にTHB高が進むも、昨日に関しては1日を通じて34円台前半を中心にのみ合い推移となった。

海外時間のドル円は、日銀金融政策決定会合の結果を明日に控え、積極的な取引が手控えられる中、133円台後半まで上昇する場面も見られたが、その後反落し133円台半ばの水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米第1四半期コアPCE(速報値)と米第1四半期GDP価格指数(速報値)が予想を上回り、インフレが予想ほど減速していない事から利上げが期待され円売りで反応。同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を下回った事も下値をサポートし、ドル円は134円台前半の水準まで急伸。しかしその後は伸び悩み反落。NY時間午後は明日の日銀金融政策会合の結果発表を控え様子見ムードが強くなり、方向感乏しい推移が続く、134円台前半の水準でクロス。

【金利】

米債市場ではコアがヘア・フラット化。米第1四半期GDPは市場予想を下回り前期から減速するも、価格指数は総合、コアも市場予想を上回り前期から加速したことに市場は反応し、短期ゾーンを中心に金利上昇。

【予想】

本日のドル円はボラティルな動きとなることを予想。月末日且つ植田日銀総裁就任後初の日銀政策決定会合を控えている。金融緩和継続がメインナラオと考えられているが、植田総裁はYCCの正常化のタイミングにつき「基調的な物価見通しが一段と改善した場合」と述べていたことから、展望レポートの物価見通しに留意したい。

【本日の予定】

(日本) 3月 失業率 / 有効求人倍率
(日本) 3月 鉱工業生産(速) / 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高
(日本) 日銀金融政策決定会合、日銀展望レポート、植田日銀総裁会見
(アジア) 1Q シンガポール URA民間住宅価格(確)
(アジア) 1Q 豪 PPI
(アジア) 3月 インド インフラ産業8業種
(アジア) 3月 タイ 国際収支:経常収支
(アジア) 3月 フィリピン 財政収支、銀行貸出動向
(アジア) 3月 豪 民間部門信用
(欧州) 1Q ユーロ圏 GDP
(欧州) 1Q 独 GDP(速)
(欧州) 4月 独 CPI(速)
(欧州) 4月 独 失業者数 / 失業保険申請率
(米国) 3月 個人所得 / 個人支出 / 実質個人支出
(米国) 3月 個消費物価デフレーター / PCEコアデフレーター
(米国) 4月 MNIデフレーター
(米国) 4月 ミシガン大学消費者マインド(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。